

公共事業新規実施予定箇所

事業名	路線名	市町村名	字名等	事業概要	事業費 (千円)
県単道路改築事業	(主)下田石廊松崎線	南伊豆町	石廊崎	道路拡幅工	150,000
県単道路改築事業	(主)下田松崎線	松崎町	小杉原	道路拡幅工	160,000
県単道路改築事業	(国)414号	伊豆市	湯ヶ島	道路拡幅工	200,000
県単道路改築事業	(一)藤枝黒俣線	藤枝市	市之瀬	道路拡幅工	380,000
県単交通安全施設整備	(国)414号	河津町	梨本2	非常停車帯	5,000
県単交通安全施設整備	(主)熱海函南線	熱海市	上宿町	交差点改良	27,000
県単交通安全施設整備	(国)135号	熱海市	網代	歩行空間整備	9,000
県単交通安全施設整備	(主)沼津土肥線	沼津市	口野	歩行空間整備	3,000
県単交通安全施設整備	(一)滝ヶ原富士岡線	御殿場市	駒門	歩行空間整備	12,000
県単交通安全施設整備	(一)吉奈門野原線	伊豆市	吉奈	歩行空間整備	17,000
県単交通安全施設整備	(一)原木沼津線	清水町	徳倉	歩道整備	60,000
県単交通安全施設整備	(主)一色久沢線	富士市	大淵	交通事故対策	10,000
県単交通安全施設整備	(国)469号	富士宮市	大鹿窪	歩行空間整備	20,000
県単交通安全施設整備	(一)島田大井川線	島田市	東町	歩道整備	700,000
県単交通安全施設整備	(一)高洲和田線	藤枝市	高洲	交差点改良	60,000
県単交通安全施設整備	(一)磐田停車場長野線	磐田市	小島	歩行空間整備	50,000
県単交通安全施設整備	(一)中方千浜線	掛川市	岩滑	歩道整備	100,000
県単交通安全施設整備	(一)掛川大東大須賀線	掛川市	大渕	歩道整備	100,000
県単交通安全施設整備	(一)掛川山梨線	掛川市	吉岡	歩道整備	75,000
県単交通安全施設整備	(主)掛川浜岡線	菊川市	高橋	歩行空間整備	8,000
県単交通安全施設整備	(一)川上菊川線	菊川市	丹野	交通安全対策	20,000
県単交通安全施設整備	(一)池東松原線	伊東市	荻	歩道整備	18,000
県単交通安全施設整備	(主)島田川根線ほか	島田市	中溝	交通事故対策	3,000
県単交通安全施設整備	(一)伊久美元島田線	島田市	落合	歩道整備	20,000
県単交通安全施設整備	(主)藤枝黒俣線	藤枝市	本郷	交通事故対策	3,000
県単交通安全施設整備	(一)磐田細江線	磐田市	森下	交差点改良	5,000
県単交通安全施設整備	(一)磐田袋井線	磐田市	見付	交通事故対策	8,000

各事業箇所の概要等は別紙3のとおり

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 主要地方道 下田石廊松崎線 賀茂郡南伊豆町石廊崎地内

1 事業概要

全体事業費：	150百万円
計画期間：	平成30年度～平成33年度
計画概要：	道路拡幅工 L=200m

2 目的・必要性

<p>本路線は、下田市武ガ浜を起点とし、南伊豆町を経て松崎町江奈に至る主要路線であり、地域の生活道路及び伊豆の観光道路として、重要な路線となっている。当該区間は、道路幅員が狭く且つ道路線形が悪いため、車両の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅及び線形改良を行い、交通の円滑化を図る。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	孤立集落へのアクセス道路	1 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形及び視距が構造令基準に不適合バス路線の定時制改善に資する道路特別立法（半島）の道路	3 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	事業着手検討会議において着手判断済の箇所（H29）	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね5年以内に事業完了	1 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	全地権者の同意有、地元住民からの要望有	2 A
計			1 S 7 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 主要地方道 下田松崎線 賀茂郡松崎町小杉原 地内

1 事業概要

全体事業費：	160百万円
計画期間：	平成30年度～平成33年度
計画概要：	道路拡幅工 L=200m

2 目的・必要性

<p>本路線は、下田市東本郷を起点とし、松崎町江奈に至る東西道路であり、地域の生活道路及び伊豆の観光道路として、重要な路線となっている。当該区間は、道路幅員が狭く且つ道路線形が悪いため、車両の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅及び線形改良を行い、交通の円滑化を図る。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	第1次緊急輸送路	2 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	特別立法（半島）の道路	1 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	事業着手検討会議において着手判断済の箇所（H29）	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね5年以内に事業完了 前後区間が整備済	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	全地権者の同意有、地元住民からの要望有	2 A
計			1 S 7 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 国道 414号 伊豆市湯ヶ島 地内

1 事業概要

全体事業費：	200百万円
計画期間：	平成30年度～平成33年度
計画概要：	道路拡幅工 L=100m

2 目的・必要性

<p>本路線は、下田市東本郷を起点とし、沼津市大岡に至る南北道路であり、地域の主要道路及び伊豆の観光道路として、重要な路線となっている。当該区間は、道路幅員が狭く且つ道路線形が悪いため、車両の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅及び線形改良を行い、交通の円滑化を図る。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	第1次緊急輸送路 孤立集落へのアクセス道路	3 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形及び視距が構造令基準に不適合 バス路線の定時性改善に資する道路 救急医療施設等へのアクセス道路 特別立法（半島）の道路	4 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	事業着手検討会議において着手判断済の箇所（H29）	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね5年以内に事業完了 前後区間が整備済	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	全地権者の同意有、地元住民からの要望有	2 A
計			1 S 1 1 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 主要地方道 藤枝天竜線 藤枝市市之瀬 地内

1 事業概要

全体事業費：	380百万円
計画期間：	平成30年度～平成34年度
計画概要：	道路拡幅工 L=420m

2 目的・必要性

本路線は、藤枝市瀬戸ノ谷を起点とし、浜松市天竜区只来に至る東西道路であり、中山間地域の生活道路及び幹線道路として、重要な路線となっている。当該区間は、道路幅員が狭く且つ道路線形が悪いため、車両の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅及び線形改良を行い、交通の円滑化を図る。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	孤立集落へのアクセス道路	1 A
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定（瀬戸ノ谷小学校：学校指定） 自動車交通量 1,211 台/日	2 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形及び視距が構造令基準に不適合 バス路線の定時性改善に資する道路	2 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	事業着手検討会議において着手判断済の箇所（H29）	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね5年以内に事業完了 前後区間が整備済	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	全地権者の同意有、地元住民からの要望有	2 A
計			1 S 9 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：国道 4 1 4 号（河津町梨本）

1 事業概要

全体事業費：	5 百万円
計画期間：	平成 3 0 年度
計画概要：	非常停車帯設置

2 目的・必要性

<p>本事業は、国道 4 1 4 号（河津町梨本）における非常停車帯整備である。当該区間は山間部の 2 車線区間であるが、緊急時の車両が安全に停車できるスペースがない。このため、既存の道路空間を利用し非常停車帯を整備し、交通安全対策を図るものである。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量	3 A
	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合		
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
重要性	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	既存道路敷内での施工	3 A
計			8 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：主要地方道熱海函南線（熱海市上宿町）

1 事業概要

全体事業費：	27百万円
計画期間：	平成30年度
計画概要：	交差点改良

2 目的・必要性

<p>本事業は、主要地方道熱海函南線（熱海市上宿町）における交差点改良である。市道との変則交差点であることから、車両の安全なすれ違い等に課題がある交差点である。このため市道改良事業に合わせて、本交差点を改良し、交通安全対策を図るものである。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量／通学路	5 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	市道事業と調整	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	4 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得済	2 A
計			1 S 1 1 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：国道 1 3 5 号（熱海市網代）

1 事業概要

全体事業費：	9 百万円
計画期間：	平成 3 0 年度
計画概要：	歩行空間整備

2 目的・必要性

本事業は、国道 1 3 5 号（熱海市網代）における歩行空間整備である。網代小学校の通学区域であるが、歩道が狭く、歩行者の安全性確保が課題である。このため、側溝改良に伴う安全な歩行空間を整備し、歩行者の安全対策を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量 ほか	5 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	既存道路敷内で空間整備	3 A
計			1 1 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：主要地方道沼津土肥線（沼津市口野）

1 事業概要

全体事業費：	3 百万円
計画期間：	平成 3 0 年度
計画概要：	歩行空間整備

2 目的・必要性

<p>本事業は、主要地方道沼津土肥線（沼津市口野）における歩行空間整備である。付近には口野公民館等があり地域の生活道路として利用される区間であるが、歩道がなく歩行者の安全性確保が課題である。このため、側溝改良に伴う安全な歩行空間を整備し、歩行者の安全対策を図るものである。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量 ほか	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	既存道路敷内で空間整備	3 A
計			9 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道滝ヶ原富士岡線（御殿場市駒門）

1 事業概要

全体事業費：	1 2 百万円
計画期間：	平成30年度
計画概要：	歩行空間整備

2 目的・必要性

<p>本事業は、一般県道滝ヶ原富士岡線（御殿場市駒門）における歩行空間整備である。明倫小学校の通学時に利用される区間であるが、歩道がなく歩行者の安全性確保が課題である。このため、側溝改良に伴う安全な歩行空間を整備し、歩行者の安全対策を図るものである。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量 ほか	5 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	4 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	既存道路敷内で空間整備	3 A
計			1 2 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道吉奈門野原線（伊豆市吉奈）

1 事業概要

全体事業費：	17百万円
計画期間：	平成30～31年度
計画概要：	歩行空間整備

2 目的・必要性

<p>本事業は、一般県道吉奈門野原線（伊豆市吉奈）における歩行空間整備である。吉奈地区の生活道路として利用される区間であるが、歩道がなく歩行者の安全性確保が課題である。このため、側溝改良に伴う安全な歩行空間を整備し、歩行者の安全対策を図るものである。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量 ほか	2 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	既存道路敷内で空間整備	4 A
計			9 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道原木沼津線（清水町徳倉）

1 事業概要

全体事業費：	60百万円
計画期間：	平成30～32年度（予定）
計画概要：	歩道整備

2 目的・必要性

<p>本事業は、一般県道原木沼津線（清水町徳倉）における歩道整備である。当区間は清水南小学校の通学経路として利用される区間であるが、歩道がなく歩行者の安全性確保が課題である。このため、歩道整備により安全な歩行空間確保を図るものである。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量 ほか	7 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地権者の同意	3 A
計			13 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：主要地方道一色久沢線（富士市大淵）

1 事業概要

全体事業費：	10百万円
計画期間：	平成30年度
計画概要：	交通事故対策

2 目的・必要性

<p>本事業は、主要地方道一色久沢線（富士市大淵）における交通事故対策である。新東名高速道路（新富士IC）への誤進入防止対策（路面表示）により、安全な道路空間確保を図るものである。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量 ほか	2 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	国土交通省（西富士道路）と連携	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得不要	2 A
計			1 S 6 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：国道 4 6 9 号（富士宮市大鹿窪）

1 事業概要

全体事業費：	20 百万円
計画期間：	平成 30～31 年度（予定）
計画概要：	歩行空間整備

2 目的・必要性

<p>本事業は、国道 4 6 9 号（富士宮市大鹿窪）における歩行空間整備である。柚野小学校の通学経路として利用される区間であるが、歩道がなく歩行者の安全性確保が課題である。このため、水路改良に伴う安全な歩行空間を整備し、歩行者の安全対策を図るものである。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量／通学路 ほか	5 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	1 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	既存道路敷内で空間整備	3 A
計			9 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道島田大井川線（島田市東町）

1 事業概要

全体事業費：	700百万円
計画期間：	平成30～平成30年代中期（予定）
計画概要：	歩道整備

2 目的・必要性

<p>本事業は、一般県道島田大井川線（島田市東町）における歩道整備である。六合東小学校の通学経路として利用される区間であるが、歩道がなく歩行者の安全性確保が課題である。このため、歩道整備により安全な歩行空間を整備し、歩行者の安全対策を図るものである。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量／通学路 ほか	6 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	通学路合同点検	1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性	事業着手準備制度	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	歩道の連続性	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の合意	3 A
計			2 S 1 1 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道高洲和田線（藤枝市高洲）

1 事業概要

全体事業費：	60百万円
計画期間：	平成30～31年度（予定）
計画概要：	交差点改良

2 目的・必要性

<p>本事業は、一般県道高洲和田線（藤枝市高洲）における交差点改良である。藤枝市道と交差する当交差点は変則形状となっていることから、車両の安全な通行に課題がある。このため、市道改良と歩調を合わせた交差点改良により安全な道路空間を整備し、安全性の向上を図るものである。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量／通学路 ほか	5 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	通学路合同点検	1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性	藤枝市道改良事業との連携	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の要望	2 A
計			2 S 9 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道磐田停車場長野線（磐田市小島）

1 事業概要

全体事業費：	50百万円
計画期間：	平成30～32年度（予定）
計画概要：	歩行空間整備

2 目的・必要性

本事業は、一般県道磐田停車場長野線（磐田市小島）における歩行空間整備である。当区間は、小島地区の生活道路として利用される区間であるが、歩道が未整備であり、歩行者の安全な通行に課題がある。このため、既存の道路敷を利用し安全な歩行空間を確保し、歩行者の安全性の向上を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量 ほか	3 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	既存の道路敷活用	3 A
計			8 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道中方千浜線（掛川市岩滑）

1 事業概要

全体事業費：	100百万円
計画期間：	平成30～平成30年代中期（予定）
計画概要：	歩道整備

2 目的・必要性

<p>本事業は、一般県道中方千浜線（掛川市岩滑）における歩道整備である。当区間は、佐東小学校の通学経路として利用される区間であるが、歩道が未整備であり、歩行者の安全な通行に課題がある。このため、既存の道路敷を利用し安全な歩行空間を確保し、歩行者の安全性の向上を図るものである。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量／通学路 ほか	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	通学路合同点検	1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	歩道の連続性	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	既存の道路敷活用	3 A
計			1 S 9 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道掛川大東大須賀線（掛川市大渕）

1 事業概要

全体事業費：	100百万円
計画期間：	平成30～平成30年代中期（予定）
計画概要：	歩道整備

2 目的・必要性

<p>本事業は、一般県道掛川大東大須賀線（掛川市大渕）における歩道整備である。当区間は、大渕小学校の通学経路として利用される区間であるが、歩道が未整備であり、歩行者の安全な通行に課題がある。このため、既存の道路敷を利用し安全な歩行空間を確保し、歩行者の安全性の向上を図るものである。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量／通学路 ほか	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	通学路合同点検	1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	歩道の連続性	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	既存の道路敷活用	2 A
計			1 S 8 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道掛川山梨線（掛川市吉岡）

1 事業概要

全体事業費：	75百万円
計画期間：	平成30～平成30年代中期（予定）
計画概要：	歩道整備

2 目的・必要性

<p>本事業は、一般県道掛川山梨線（掛川市吉岡）における歩道整備である。当区間は、桜ヶ丘中学校の通学経路として利用される区間であるが、歩道が未整備であり、歩行者の安全な通行に課題がある。このため、既存の道路敷を利用し安全な歩行空間を確保し、歩行者の安全性の向上を図るものである。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量／通学路 ほか	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	歩道の連続性	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	既存の道路敷活用	2 A
計			8 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道掛川浜岡線（掛川市高橋）

1 事業概要

全体事業費：	8 百万円
計画期間：	平成 30～31 年度（予定）
計画概要：	歩行空間整備

2 目的・必要性

<p>本事業は、主要地方道掛川線（掛川市高橋）における歩行空間整備である。当区間は、小笠南小学校の通学経路として利用される区間であるが、交差点内に歩行者たまりがなく、歩行者の安全な通行に課題がある。このため、交差点内に安全な歩行空間を確保し、歩行者の安全性の向上を図るものである。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量／通学路 ほか	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元要望	2 A
計			9 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道川上菊川線（菊川市丹野）

1 事業概要

全体事業費：	20百万円
計画期間：	平成30年度
計画概要：	交通安全対策

2 目的・必要性

<p>本事業は、一般県道川上菊川線（菊川市丹野）における交通安全対策である。当区間（丹野トンネル前後区間）は、小笠高校の自転車通学経路として利用される区間であるが、トンネル内に十分な路肩幅員がなく、利用者の通行に課題がある。このため、トンネルを含む前後区間に安全対策を実施し、安全な通行空間を確保するものである。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量/通学路 ほか	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元要望	2 A
計			9 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道池東松原線（伊東市萩）

1 事業概要

全体事業費：	18百万円
計画期間：	平成30～32年度（予定）
計画概要：	歩行空間整備

2 目的・必要性

本事業は、一般県道池東松原線（伊東市萩）における歩行空間整備である。当区間は、萩地区の生活道路として利用される区間であるが、歩道が未整備であり歩行者の安全な通行に課題がある。このため、既設水路の改良による歩行空間整備を行い、安全な通行空間を確保するものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量 ほか	2 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間 ほか	4 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元要望 ほか	4 A
計			10 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：主要地方道島田川根線（島田市中溝） ほか

1 事業概要

全体事業費：	3百万円
計画期間：	平成30年度
計画概要：	交通事故対策

2 目的・必要性

<p>本事業は、主要地方道島田川根線（島田市中溝）ほかの交通事故対策である。当区間は、島田第二小学校の通学経路として利用される区間であるが、交通量が多く、車両の走行速度が高い。このため、児童をはじめとする歩行者の安全を確保するため速度抑制を促す路面表示を行い、安全な道路空間を確保するものである。</p>
--

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量/通学路 ほか	7 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	通学路合同点検	1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間 ほか	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得不要 ほか	3 A
計			1 S 1 2 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道伊久美元島田線（島田市落合）

1 事業概要

全体事業費：	20百万円
計画期間：	平成30～31年度（予定）
計画概要：	歩道整備

2 目的・必要性

<p>本事業は、一般県道伊久美元島田線（島田市落合）における歩道整備である。当区間は、大津小学校の通学経路として利用される区間であるが、歩道が未整備であり、歩行者の安全な通行に課題がある。このため、歩道整備を行い、児童をはじめとする歩行者の歩行者の安全を確保するものである。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量／通学路 ほか	6 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	通学路合同点検	1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	歩道の連続性	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元要望	3 A
計			1 S 1 2 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：主要地方道藤枝黒俣線（藤枝市本郷） ほか

1 事業概要

全体事業費：	3百万円
計画期間：	平成30年度
計画概要：	交通事故対策

2 目的・必要性

本事業は、主要地方道藤枝黒俣線線（藤枝市本郷）ほかの交通事故対策である。当区間は、瀬戸ノ谷小学校の通学経路として利用される区間であるが、車両の走行速度が高い。このため、児童をはじめとする歩行者の安全を確保するため速度抑制を促す路面表示を行い、安全な道路空間を確保するものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量/通学路 ほか	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	通学路合同点検	1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間 ほか	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得不要 ほか	3 A
計			1 S 9 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道磐田細江線（磐田市森下）

1 事業概要

全体事業費：	5百万円
計画期間：	平成30年度
計画概要：	交差点改良

2 目的・必要性

本事業は、一般県道磐田細江線（磐田市森下）交差点改良である。当交差点は、磐田市道との変則形状となっていることから、車両の安全な通行に課題がある。このため、市道改良と歩調を合わせた交差点改良により安全な道路空間を整備し、安全性の向上を図るものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量 ほか	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	磐田市事業と連携	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間 ほか	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得不要 ほか	3 A
計			1 S 9 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：県単交通安全施設整備

路線名：一般県道磐田袋井線（磐田市見付）

1 事業概要

全体事業費：	8 百万円
計画期間：	平成 3 0 年度
計画概要：	交差点改良

2 目的・必要性

<p>本事業は、一般県道磐田袋井線（磐田市見付）交差点改良である。当交差点（加茂交差点）は、県道磐田停車場線や県道磐田天竜線との変則 5 支交差点となっていることから、車両の安全な通行に課題がある。このため、交差点改良により安全な道路空間を整備し、安全性の向上を図るものである。</p>

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	交通量 ほか	2 A
	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合		
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	交通診断実施箇所	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間 ほか	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得不要 ほか	2 A
計			1 S 6 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）